

東京都福祉局受託事業
精神障害者就労定着連携促進事業

精神障害者の職場定着を すすめる採用面接とは？

～採用面接のためのコミュニケーションツールの活用について～

『精神障害者を雇いたいけどどうして良いかわからない』『精神障害者ってどんな人たち？』『雇ってみたけど、続かなかった』などのお困りごとはありませんか？

本セミナーはこれから障害者雇用を始める、すでに始めているがより良い人材と出会うために採用面活動を見直したいという企業担当者の方を対象に、『採用面接コミュニケーションツール』のご紹介と活用に関するご提案をさせていただきます。是非ご参加ください。

日時 令和6年**6月3日**(月)より限定公開
YouTubeでのオンデマンド配信

内容：障害者雇用の概要、精神障害の特性理解、コミュニケーションツールの説明

講師：東京障害者職業センター 多摩支所
主任職業カウンセラー 岡田聡子氏
ほか当法人職員

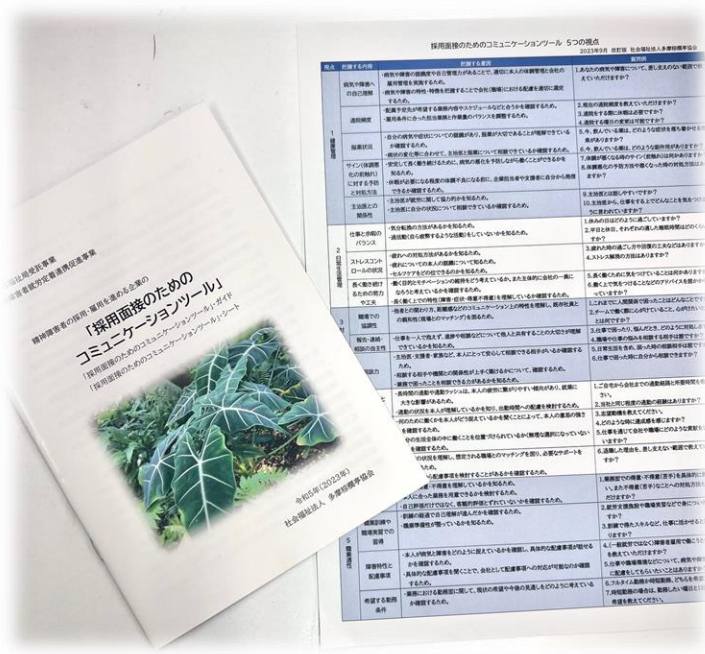
お申し込みははこちら

Googleフォームでのお申込み ⇒QRコードをスキャン⇒
メールでのお申込み (opener@shuro.jp)

お問合せ 障害者就業・生活支援センター オープナー
042-577-0079 担当 吉本まで



精神障害者の採用・雇用を進める企業の 「採用面接のための コミュニケーションツール」とは



障害者の採用面接は、企業側が求職者の履歴書や職務経歴書について聞き取る「一方向型」で、企業が求職者を振り落とすようなものになっている現状があります。そのため、求職者の職業準備の状況や、障害や病病に対する自己理解について確認することができず、求職者のことを理解できないまま採用した結果、職場定着が進まないということがあるのではないのでしょうか。

このツールでは、**採用面接を『互いについての理解を進めていく場』と定義し、双方向でコミュニケーションを円滑に行う事で、求職者への理解、配置部署や業務内容の検討、提供可能な合理的配慮の範囲などを深く検討することを目的としています。**

どのような人材を求めるのか、職務は何か、現場担当者のサポートはどのように行うのかといった採用面接の前に行っておきたい企業の準備や、採用面接を行う際に、求職者である精神障害者に、どのような質問をするのか？質問の意図や目的、その背景についても解説しています。上記について十分に理解した上で、それぞれの企業に合った形で、質問する場面や具体的な聞き方を準備していただきたいと思います。企業と精神障害者の相互理解にご活用いただければ幸いです。

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会
障害者就業・生活支援センター オープナー
センター長 荒木浩